

## Y05a 国立天文台「市民天文学」プロジェクト GALAXY CRUISE サイトの公開

白田-佐藤功美子, 小池美知太郎, 柴田純子, 田中賢幸, 内藤誠一郎, 山岡均 (国立天文台)

すばる望遠鏡ハイパー・シュプリーム・カム (HSC) を使った大規模戦略枠サーベイ (HSC-SSP) の公開データを用いて、衝突銀河の分類に市民が参加する「市民天文学」プロジェクト GALAXY CRUISE サイトの日本語版 <https://galaxycruise.mtk.nao.ac.jp> を 2019 年 11 月 1 日に公開した (市民天文学は、国立天文台で行うシチズンサイエンスをさす造語)。独自にサイトを開発するにあたり、主に英語で運用されている既存のシチズンサイエンスサイトではあまり実装されていない、以下の工夫を施した。

### (1) トレーニング・練習機能を充実

非専門家が自信を持って分類できるように、3段階のトレーニングメニューを用意した。参加登録後にログインする分類サイトでは、船長 (研究者) と自分の分類結果を比べられる練習画面に簡単に切り替えられる。

### (2) ゲーム性を重視

観測領域を 4 つの街と 6 つの大陸にたとえ、領域完了ごとにもらえる「出国スタンプ」や、領域内の完了エリア数に応じてもらえる「おみやげ」イラストを集めたりできる。進行とともに船室のグレードも上がる。

### (3) 宇宙を周遊

分類の合間に、HSC-SSP データ内を巡って楽しむことができる。

2019 年 11 月末日現在で、既に 1100 名以上がユーザー登録し、全ての領域において分類作業を完了したユーザーも現れた。本講演では、GALAXY CRUISE サイトの特長とともに、進捗状況について報告する。